

■会員近況報告（4／4）（高12期）

<※>この近況報告は、2021年2月頃までに寄稿いただいたものです。

新型コロナウイルス禍のため、本年度は会報の編集もむつかしいと思いましたが、コロナごときに負けて伝統の会報を途絶えさせるのは何とも口惜しく、皆様から「近況報告」をいただければ会報もできて、お互いの元気づくりにもなるのではないかと考えました。

呼びかけにご協力いただきました皆様、有難うございました。一日も早くこの言わば「コロナ版近況報告」が思い出話になりますよう・・・。

（3／4）から続く。

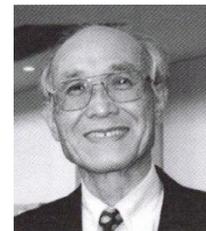
「コロナ禍の春～熱暑の夏～そして With コロナの秋へ・・・今、思うこと」

2020.9.21 記

高12（昭36卒） 山本 輝夫（京都市）

まずもって、来年（令和3年）母校創立145周年の節目を迎えると知り、この間に幾多の有為の人材を世に送り出してきた偉業に改めて敬意と感謝を。双松会員として末席を汚す身にも大変誇らしく思っています。おめでとうございます。

この光輝ある伝統に甘んずることなく、少子化時代に相応しい新しい風を吹き込み、憧れの存在であり続けてください。益々の弥栄と、学生諸君と教職員の方々のご健闘を祈念し、エールを送り続けます。



◆<新型コロナ>の初声には、一瞬愚息が勤めるカーメーカーがモデルチェンジした新車発売か！？・・・と、トチッタ事も今は昔。“3密”の巣ごもり生活にもやっと慣れた頃、熱暑と熱帯夜続きの毎日。ジムも休業でもっぱら京都御苑内ウォーク（8千歩）の日々。メリットは絨毯状の芝生の上もさることながら、玉砂利、樹木（5万本）の古木の根っこがコブ状に浮いた部分、苑内と遊歩道を仕切る凸凹の河石（自然石）は、足裏に格別の刺激でヤミ付きに（足裏は第二の心臓なので）。皇宮警察車輛に見守られつつ、五感に貯まった錆落としにもなったのでは？とも。

ジム再開（7月～）後はマスク着用、ソーシャルディスタンスに配慮、会話禁止と、唯一の癒しは、プールでの泳ぎ。街なかへの徘徊もままならず、読書を精神安定剤に。

◆常々、「歌は心の食べ物」と信じる身。心に響く名著との出会いも。中で、NHK TV朝ドラ「エール」の主人公を描いた『古関裕而と流行作曲家 激動の日本』を印象深く読了。商家を継ぐべく福島商業に進学するも、作曲への道を諦め切れず、独学で生涯5千曲を。

甲子園大会歌♪栄冠は君に輝く、大阪タイガース応援歌♪六甲おろし、古くは出世作♪露営の歌、♪高原列車は行く、鐘の鳴る丘の主題歌♪とんがり帽子、♪長崎の鐘、現在も親しまれているNHKラジオ♪ひるのいこい、のメロディー、♪野球中継のオープニング曲、などなど。

幼い頃から馴染んだ曲（TVのない時代にラジオから流れる歌声、メロディー）は、会員諸兄弟も今でも口ずさんでおられるのではないのでしょうか。

氏の明るく軽快で、かつ力強く元気の出る曲は、♪紺碧の空（早大）、♪我ぞ覇者（慶大）、の応援歌・校歌・自治体歌等でも300曲以上。極めつけは、1964年の♪オリンピックマー

チ。古賀政男、服部良一両氏と並んで、昭和の三大作曲家と称される由縁。

名前は知らなくても作られた曲を歌ったり、聴いたりしたことのない人はいないと思われる程、偉大な天才作曲家。“元気”が欲しい今こそ、心に沁みる人生の応援歌だと思う。没後、「国民栄誉賞」も打診されたがご長男が辞退されたとの裏話も初めて知り、少し残念な気持ちに・・・。

◆<コロナ禍に翻弄される毎日であって、朗報に心ときめかせる快挙>も。将棋の藤井聡太君（18）の二冠と、大坂なおみさん（22）の全米OPテニス2年ぶりのV。大相撲、正代関（28）の初Vと大関昇進。遅咲きの大輪の花が同時に二つも開花。熊本勤務の経験ある身には喜びもひとしお。熊本の皆さんオメデトウ！

特筆すべきは、水泳の池江璃花子さん（20）の白血病復帰後第一戦のインカレ50メートル自由形で、自己ベストのタイムで4位入賞には、感激し思わず涙。

我が家的には、孫の日銀内定。国の経済の舵取りの重責がいかほどのものかは知る由もないが、かつては仰ぎ見る存在で、住む世界が違う人たちと感じていただけに、感無量。イギリスにいる孫（大4、高3）の本格帰国にも一縷の望みを抱きつつ、敬老の日には、孫たちに向かって【百歳挑戦宣言！！】をした。

◆<大ショック>は、国民的スーパースター、俳優の渡哲也さん（78）の死。同い年に加え、里帰り出産のため、お母様の実家“島根”で誕生されたと知り、言葉に表せない程に落ち込んだ。ひたすらご冥福をお祈りします。（合掌）

◆去る4月には、コロナの一日も早い収束を祈願に、スサノオノミコト他2祭神を祀る八坂神社「茅の輪くぐり」に。今夏は中止となった祇園祭の「粽(ちまき)」に書かれた言葉（護符に「蘇民将来之子孫也」）。これを戸口に飾っておくと疫病が家内に入らないとされ、京町屋の戸口には飾られる。当然、我が戸口にも。

◆年明け（令和3年）からは、コロナワクチン接種の可能性も！ 愚息が勤務するイギリス・オックスフォード大と大手製薬メーカー・アストラゼネカの共同開発したワクチンは日本に6千万人ぶんを供与で基本合意とのマスコミ報道も。しかも無償化に向け政府も予算化。Withコロナはワクチン接種から・・・。

直近報道によれば世界のコロナ死亡者「1千万人超（日本は1,500人超）」と。あと2～3年コロナ禍は続くとの専門家の見方も。飲み会、遠出は自粛で資産寿命は少し伸びそう？

<※編集注>2021年3月25日現在： 世界の死者2,743千人、日本の死者8,983人

NHKラジオ深夜便の石澤典夫アンカーの名セリフ“二度と来ない今日という日を大切にお過ごし下さい”を心で復唱しながら、一日一生で今日も生き（=息）よう・・・。だんだん。

◆最後に、作家・五木寛之氏の「三密法話」をご参考までに。『三密』とは、もともと仏教の言葉で、“身口意”と言って、【身密（身体）、口密（言葉）、意密（心）】の三つの密を追求するために修行することが、弘法大師が説いた真言密教の教義。

「ソーシャルディスタンス」「三密を避ける」と言われるが、「三密を避ける」とは、結局のところ、「孤立せよ、他人に近づくな」という「人間疎外のすすめ」に他ならない。

以上